

独立行政法人水産大学校の平成 2 3 事業年度評価結果の主要な反映状況

1. 役員人事への反映について

役員人事への反映	中期目標に定められた業務について、中期計画に沿った年度計画が順調に達成され、独立行政法人評価委員会による平成 2 3 年度の総合評価が「A」評価であったこと及び評価委員会における指摘がなかったこと等から、評価結果による役員の交代等を行わなかった。
----------	---

2. 役員報酬への反映について

役員報酬への反映	中期目標に定められた業務について、当該目標を達成するための中期計画に沿った年度計画が順調に実施され、平成 2 3 年度業務の実績が独立行政法人評価委員会において「A 評価」を受けたところであったことを踏まえ、役員報酬の増減は行わなかった。
----------	---

3. 法人の運営、予算への反映について

評価項目	2 3 事業年度評価における主な指摘事項	平成 2 4 及び 2 5 年度の運営、予算への反映状況
国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置	専攻科については、二級海技士免許筆記試験合格率が 80%を下回っており、特に航海士の合格率が低い。この原因を客観的に把握し、改善策を講じる必要がある。	内定先企業等によっては、必ずしも二級以上の海技士資格を必須としないものもあり、こうした企業に内定した者のモチベーションの低下等による影響が大きいと考えられることから、適切な動機付けの方策を検討している。 なお、平成 2 4 年度は、個別少人数指導の強化等の改善策により、二級海技士（航海）の筆記試験合格率は 8 0 %に向上した。
その他の主務省令で定める業務運営に関する事項	船舶は年月の経過とともに費用が高額となるため、一層の創意工夫に努めて頂きたい。	船齢の経過した天鷹丸については、ドック時に計画的に船底の補修等を行う事により、安全性を確保しつつ経費の削減に努めた。
	防災面から施設の点検も実施しているとのことだが、引き続き実施するとともに、点検項目の見直し等必要な検討は適宜行っていただきたい。	2 階建て以上で耐震補強がなされていなかったクラブ活動棟についても、平成 2 4 年度補正予算によって耐震工事の設計契約を行い、平成 2 5 年度中に工事を完了する予定である。